

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	2179	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 下水道施設の整備と維持管理	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課				
	③事業主体	個別事業 下水道ストックマネジメント事業	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市							
	⑤事業期間	令和2年度～令和7年度		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.5人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	3,520千円		当該(開始)年度	(当初)	21,650千円 (うち人件費 4,450千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	五か年整備計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	公共下水道施設のすべてを対象とし、将来にわたって適切に維持管理、改築、修繕を行ってためストックマネジメント計画を策定し実施することを目的とする。						
(3) 事業内容	内容	ストックマネジメントに基づく予防保全型の施設管理を実現するため、明確かつ具体的な施設管理の目標を設定し、リスク検討に基づく点検・調査計画及び修繕・改築計画を策定する。また、これらの計画を実行し、評価、見直しを行うとともに施設情報を蓄積し、ストックマネジメントの精度向上を図る。			当該年度執行計画	ストックマネジメント修繕・改築実施業務委託；4月交付申請、6月契約 ・委託期間：7月～1月 ・業務内容：修繕・改築の実施設計（第1期分） ・第1期：令和3年～令和7年						
		具体的には、①導入準備、②施設情報の収集・整理、③施設管理の目標設定、④リスクの検討、⑤点検・調査計画の策定及び実行、⑥修繕・改築計画の策定及び実行、⑦評価の見直しという工程となる。なお、汚水事業（下水道課）、雨水事業（治水課）を同時に行う。			当該年度活動結果指標	ストックマネジメント修繕・改築の進捗率（第1期）	単位	%	想定値	20		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	ストックマネジメント修繕・改築実施設計業務委託を実施する。				直接	ストックマネジメント修繕・改築の進捗率（第1期）		%	0	20		
令和4年度	ストックマネジメント修繕・改築工事を行う。				直接	ストックマネジメント修繕・改築の進捗率（第1期）		%		40		
令和5年度	ストックマネジメント修繕・改築工事を行う。				直接	ストックマネジメント修繕・改築の進捗率（第1期）		%		60		
(7) 事業実施上の課題と対応	ストックマネジメント計画に基づき、施設の状態を把握、評価し、施設の状態を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する必要があります。				代替案検討	●有 ○無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	ストックマネジメント計画に基づく点検・調査業務委託(汚水分) (補助事業)	47,000	*	(3月補正) ストックマネジメント修繕・改築実施設計(汚水) (補助) (繰越)	17,200			*	ストックマネジメント修繕・改築工事(汚水) (補助事業)	60,000
		予算(決算)額	合計	47,000	合計	17,200	合計	60,000	合計	60,000		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	23,500	補助率	50%	6,880	補助率	50%	30,000		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	45%	10,200	充当率	50%	30,000		
	一般財源			0			0			0		
その他の財源	■特会 □受益 □基金 ■その他		23,500	■特会 □受益 □基金 ■その他		120		■特会 □受益 □基金 ■その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.75		0.5		0.75		0.75			
	正職員人件費		6,525		4,450		6,675		6,675			
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額		0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			53,525		21,650		66,675		66,675			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			535.25千円/%		1,082.5千円/%							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	本市の下水道建設は、昭和42年度から始まり、平成10年代までの間に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが見込まれる。その一方で自治体の財政状況は逼迫化していることから、維持管理から改築更新までのライフサイクルコストの低減化や予防保全型施設管理の導入により、戦略的な維持管理・改築更新を行い、下水道サービスの持続性を図るため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	0	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<超過理由等>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>						
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.09	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------